

【所管事務の調査（報告）】

「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年度事務事業評価結果について（環境局に関する部分）

資料1 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年度事務事業評価結果について（環境局）

資料2 令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧（環境局）

参考資料 令和4年度事務事業評価シート（環境局）

環 境 局

「川崎市総合計画」第3期実施計画・ 令和4年度事務事業評価結果について（環境局）

1 趣旨

「川崎市総合計画」第3期実施計画における、環境局の令和4年度の事務事業評価結果を取りまとめました。

2 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年度事務事業評価結果（概要）

「川崎市総合計画」第3期実施計画に基づく施策に位置付けられた事務事業のうち、環境局が所管する事務事業は44事業あり、そのうち目標を上回ったものは2事業、目標をほぼ達成したものは39事業、目標を下回ったものは3事業ありました。（表1）。

表1 施策に位置付けられた事務事業の達成状況区分別 事業数と構成比（環境局）

達成状況区分		内容	事業数	構成比(%)
1	目標を大きく上回って達成	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ・目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく上回った。 	0	0.0%
2	目標を上回って達成	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ・目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ・目標に明記した数値を上回った。 	2	4.6%
3	目標をほぼ達成	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ・途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ・目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ・おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。 	39	88.6%
4	目標を下回った	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ・目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を下回った。 ・所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。 	3	6.8%
5	目標を大きく下回った	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく下回った。 	0	0.0%
合計			44	100.0%

令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧(環境局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	30101010	地球温暖化対策事業	その他	市民・事業者などの多様な主体との協働により、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の排出量削減に向けた取組(緩和策)及び気温上昇や短時間強雨の発生など気候変動の影響に対する取組(適応策)を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市域における温室効果ガス排出量の削減割合(目標2013年度比-8.5%のところ実績-15.0%) ●かわさきエコ暮らし未来館等を活用した普及啓発の実施(来館者数:目標9,000人のところ16,788人) ●川崎温暖化対策推進会議のネットワークを活用した協働の取組の推進(会員数:目標112団体のところ114団体) ●優れた環境技術・製品等を認定する低CO2川崎ブランドの運用(認定件数:10件(累計目標122件のところ126件)) ●地球温暖化対策推進条例について全体的な改正の実施 ●同条例に基づく計画書・報告書制度の運用及び見直しの検討 	118,343	221,606	2	P4
2	30101020	環境エネルギー推進事業	その他	市役所における再生可能エネルギーの率先的な導入や、市民・事業者向けの支援事業等を推進することで、市域の再生可能エネルギー導入量の増加及び省エネ・蓄エネの促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民・事業者向けの支援について、地方創生臨時交付金を活用した補正予算を計上し予算拡大により、目標の26,320kWを上回る26,729kWの導入量を達成 ●公共建築物内照明LED化について、目標の220施設を上回る累計381施設を実施 ●再生可能エネルギー電力導入量について、目標の5.6GWhを上回る6.2GWhを確保、全市立学校及び環境局所管施設において、太陽光発電設備導入に関する基礎調査を実施 ●地域エネルギー会社について、交渉権者の決定・公表、基本協定を締結 ●公共施設における環境配慮の徹底について、市建築物における環境配慮標準運用ガイドラインを作成 	57,830	65,111	3	P7
3	30101030	次世代自動車等普及促進事業	その他	脱炭素社会の実現に向け、電気自動車(EV)や燃料電池自動車等の次世代自動車の普及やエコドライブの普及に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●次世代自動車の普及促進に向けた再エネ100%によるEVカーシェアリングの実証実験を開始(市域の電動化率:目標0.55%のところ0.54%) ●国や近隣自治体と連携した次世代自動車の普及促進 ●次世代自動車のインフラ整備促進に向けて「川崎市次世代自動車の普及に向けた充電インフラ整備の考え方」を取りまとめ、共同住宅用EV充電設備の補助制度創設に向けた準備を進めるとともに充電設備導入の手引きなどの普及啓発用冊子を作成 ●講習会や啓発事業の実施によるエコドライブの推進(講習会修了者数:目標89人のところ110人) ●公用車への次世代自動車導入の推進(公用乗用車の電動化率:目標38%のところ47.7%) ●一部の指標が未達成となったものの、その他の指標を達成していることから、総合的に判断し、事業の達成度は3 	18,379	24,602	3	P9
4	30101040	グリーンイノベーション・国際環境施策推進事業	その他	脱炭素社会の実現に向けて、本市の強みと特徴である環境技術・産業の集積を活かした「環境」と「経済」の調和と好循環の取組をより一層推進することで、グリーンイノベーションを促進していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ●「溝口周辺地域における脱炭素化に関するビジネス研究」をテーマとした研究会を実施、「エネルギー」と「資源循環」の事業化アイデアの創出 ●「エコプロ2022」等の展示会への出展や大型ビジョン等を活用した広報を通じて、情報発信を実施(目標6回のところ計6回) ●中小企業向け「川崎市脱炭素化取組ガイドブック」を発行し金融機関等と連携し運用した他、脱炭素化の取組の必要性等をテーマとしたセミナーを金融機関と連携の上実施(目標2回のところ計2回) ●カーボンニュートラル等に向けた環境課題のワンストップ窓口を立ち上げ、企業等からの相談内容に応じた課題整理や提案等を行うことによる事業者支援を実施 ●廃棄物を使用した試験研究による処理技術等の開発を促すとともに、実用化に向けた指導等の事業者支援を実施 	9,723	9,207	3	P11

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
5	30101050	環境教育推進事業	その他	持続可能な社会の構築と脱炭素社会の実現に向けた人材育成のため、環境配慮行動を促すしくみの基盤となる環境教育・学習の取組を地域全体で推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「環境教育・学習アクションプログラム」に基づき、市民活動団体、事業者等と連携した環境教育・学習に関する総合的な取組を推進 ●GIGAスクールに対応した環境副読本等による環境教育・学習の推進(学校等への周知・広報件数:目標3件のところ3件) ●幼児環境教育プログラム「つながりたのしみあそび集」の内容改訂 ●地域環境リーダー育成講座の実施(修了生:10人(累計目標384人のところ382人)) ●一部の指標が未達成となったものの、その他の指標を達成していることから、総合的に判断し、事業の達成度は3 	3,329	2,815	3	P13
6	30101080	エコオフィス推進事業	その他	環境配慮契約、グリーン購入等、「地球温暖化対策推進計画」に掲げる市の優先取組を推進するとともに、エコオフィス管理システムを活用して進行管理を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●市役所の各施設における前年度の温室効果ガスの排出量実績及び目標の達成度について、点検を実施し、庁舎等建物内LED化の取組などにより一定程度削減 ●一方、新型コロナウイルス感染症対策として実施した換気の徹底などにより、空調効率が悪化(温室効果ガス排出量の削減割合の目標2013年度比-10.9%のところ-9.0%) ●令和4年度グリーン購入推進方針を策定し、全庁へグリーン購入調達の促進に向けた働きかけを行ったが、一部の調達においてグリーン調達が未実施(目標100%のところ紙類93%、紙類以外は85%) ●環境配慮電力入札の実施、ESCO事業の導入により、環境配慮契約を推進。ESCO事業の一部を地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、市の財政負担を削減 ●公共施設の省エネ診断の実施(10施設) ●市役所の排出量の削減割合及びグリーン購入調達実績が未達成のため、達成度は4 ●今後は、排出量実績等について、地球温暖化対策推進基本計画に基づき、公共施設での再生可能エネルギー100%電力を調達するとともに、省エネ診断結果を踏まえた事例の庁内共有など、公共施設の脱炭素化の取組を強化 ●グリーン購入実績について、庁内各部署の庶務・調達担当者を対象とした研修や、各種会議での働きかけ、公表方法の工夫による見える化等、調達実績の向上に向けた取組を推進 	545,765	713,015	4	P17
7	30201010	大気・水環境保全事業	その他	更なる環境負荷の低減に向けて、市民の環境配慮意識の向上を図るとともに、大気・水環境の改善に係る取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●光化学オキシダント及びPM2.5対策として事業者の自主的な排出削減を促進する取組の実施(PM2.5の環境基準の達成:目標100%のところ100%)、(事業者のVOC排出削減を促進した件数:目標2件のところ7件) ●工場・事業場周辺の有害大気汚染物質排出実態調査の実施 ●公共用水域水質測定及び生物調査の実施 ●九都府市連携によるVOCの自主的な排出抑制に向けた啓発を実施するとともに、国及び近隣自治体と連携した東京湾環境一斉調査の実施(東京湾環境一斉調査への市内の参加団体数:目標20団体のところ24団体) ●河川等の水質事故への対応の実施 	3,902	2,125	3	P31
8	30201030	環境常時監視事業	その他	関係法令等に基づき大気や水の常時監視を実施するとともに、放射能関連施設周辺等において環境放射能モニタリングを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●大気常時監視について、市内18測定局で常時(24時間365日)連続測定を実施(二酸化窒素の有効測定時間数:目標8,000時間のところ8,590時間) ●公共用水域(河川・海域)における水質調査を実施(目標年12回のところ12回) ●ダイオキシン類環境調査を大気、水質、底質、土壌で計20地点実施(大気、水質、底質及び土壌のダイオキシン類の環境基準達成状況:目標100%のところ100%) ●放射能関連施設周辺の空間放射線量率、放射性物質濃度等調査の実施(実施件数:年間目標12回のところ12回) 	176,314	171,911	3	P33

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
9	30201040	自動車排出ガス対策事業	その他	自動車から排出される窒素酸化物等の削減に向け、低公害車の普及促進やディーゼル車運行規制、国・関係自治体等と連携した対策などの取組を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●最新規制適合車や低公害車導入補助の実施(補助台数:2台) ●九都県市連携による指定低公害車普及状況調査及び普及啓発の実施(産業道路を走行する普通貨物車の最新規制適合車の構成率:目標77%のところ79%) ●ディーゼル車運行規制に基づく車両検査等の実施(ディーゼル車運行規制に基づく車両検査台数:目標305台のところ324台) ●エコ運搬制度の運用による、指定荷主・指定荷受人における要請の実施(要請実施件数:114事業所、13,550件) ●商用車のZEV化に向けた試乗会や認知度アンケートの実施 	11,954	5,253	3	P35
10	30201050	大気・水質発生源対策事業	許認可等	環境基準の達成・維持等のため、関係法令等に基づき、大気汚染・水質汚濁の発生源対策を推進するほか、石綿の飛散防止対策を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●法条例に基づく工場・事業場の監視・指導の実施(関係法令等に基づく工場・事業場への立入調査件数(大気):目標29件のところ29件、(水質):目標85件のところ104件) ●法条例等に基づく届出等の審査を実施 ●石綿の飛散防止対策としての届出等の審査及び指導並びに作業の監視指導等を実施 	67,559	63,814	3	P37
11	30201190	地域環境計画・共創推進事業	その他	環境が良好であるという市民の実感向上に向け、「大気・水環境計画」に基づいた情報発信や、市民・事業者との協働連携などの取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●大気・水環境計画に基づく取組の推進(市内の空気や川、海のきれいさの満足度:目標53.6%のところ54.1%) ●環境配慮意識の向上を目指して、水辺に親しむイベントや出前授業の実施(市民による「水辺の親しみやすさ調査」及び調査結果の情報発信の実施回数:目標6回のところ9回、出前授業等の実施回数:目標5回のところ2回) ●多様な主体との協働・連携推進に向けた、ワークショップ等の実施や視程調査等の実施(市民・事業者とのワークショップ等の実施回数:目標3回のところ7回実施、視程調査等の実施回数:目標3回のところ3回実施) ●一部の指標が未達成となったものの、その他の指標を達成していることから、総合的に判断し、事業の達成度は3 	2,093	1,717	3	P55
12	30202010	減量リサイクル推進事業	その他	循環型社会の構築をめざし、ごみの減量化及びリサイクルを推進するため、各種事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の小学校における出前ごみスクールの開催(実施数:目標107校のところ99校) ●目標は下回ったものの、新型コロナウイルス感染防止対策として学年全体からクラス単位の少人数制で対応するなど工夫した方法等により167回授業を実施(99校) ●生ごみリサイクルリーダーによる講座等の参加人数は、新型コロナウイルス感染症等の影響もあり減少(目標1,850人のところ1,039人) ●出前ごみスクールの開催数と生ごみリサイクルリーダーによる講座等の参加人数が未達成となったため事業の達成度は4 ●今後は、将来世代を対象とした生ごみリサイクルイベント等を開催することで、生ごみリサイクルの普及を拡大 ●市内の町内会・自治会等を対象としたふれあい出張講座の開催(実施数:目標50回のところ95回) ●その他、市民祭りなどといった多数の市民が集う各種イベントにおいて環境学習や3Rの推進に向けた普及啓発の取組を実施 ●ごみゼロカフェの開催(開催数:目標3回のところ3回) ●資源物の拠点回収量(目標114tのところ119t) ●フードドライブ回収実績(目標600件のところ1,003件) 	311,126	267,800	4	P59

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
13	30202020	事業系ごみ減量化推進事業	その他	事業系ごみの減量化・適正処理を図るため、排出事業者への普及啓発・指導を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●3Rに取り組む店舗等に係る認定制度の登録促進(リユース・リサイクルショップの認定店舗数:目標50店のところ52店、エコショップ認定店舗数:目標465店のところ586店) ●事業系ごみの減量化等に向けた多量排出事業者等に対する指導・広報の実施(立入調査実施件数:目標216件のところ239件、事業系一般廃棄物焼却量:目標99,500t以下のところ94,160t) ●大規模商業施設と連携した食品ロス削減イベントを2回実施するとともに、フードバンクと連携したフードドライブについて、市内7か所の常時回収に加え、ごみ相談窓口や環境イベントの機会を活用して実施(食品ロス協力店:目標475店のところ507店) 	3,920	3,180	3	P62
14	30202030	資源物・ごみ収集事業	その他	市民生活を支えるライフラインとして、排出された資源物・ごみを安定的に安全に収集するとともに、委託された収集業務については適正に執行されるよう事業者への指導等の取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●資源物等の収集を民間委託を活用して実施 ●普通ごみの直営収集を基本とし、一部地域において民間委託を活用して収集を実施 ●ふれあい収集の実施及び今後の方向性の検討 ●資源物・普通ごみ収集日数(目標311日のところ311日) 	3,393,847	3,380,397	3	P64
15	30202040	資源物・ごみ処理事業	施設の管理・運営	分別収集した資源物の中間処理を行い、適正に資源化を行うとともに、焼却ごみについては処理センターにおいて適正かつ安定的に処理を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●焼却ごみの適正かつ安定的な処理の実施(ごみ焼却量:340,093t) ●放射性物質が検出され保管している灰の安全な保管及び試験的埋立の実施(3,553t) ●カーボンニュートラル化を目指した廃棄物処理施設の中長期的な整備構想策定に向けて検討 ●環境マネジメントシステムでは、各処理センターにおいて脱炭素化に向けて取り組むなど、環境負荷低減に向けて運用 ●計画外停止回数が目標を達成(目標5回のところ、7回)できなかったが、ごみを適正かつ安定的に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることができているため、総合的に判断して達成度は3 	4,007,301	3,936,829	3	P66
16	30202050	廃棄物処理施設基幹的整備事業	その他	廃棄物処理施設の安定的な運用のため、廃棄物処理施設等の大規模改修を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●浮島処理センター基幹的設備改良工事を継続実施 	1,294,020	1,272,415	3	P68
17	30202060	廃棄物処理施設建設事業	その他	廃棄物処理事業を長期安定的に運営していくため、老朽化した施設について建替等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●橘処理センターについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、工期延伸となったため、事業の達成度は4 ●令和5年度中の竣工に向け、引き続き徹底した工事進捗管理を実施 ●堤根処理センター施設整備に向けたプラスチック資源循環施策や脱炭素化に資する施設の検討の実施及び環境影響評価手続きに向けた施設整備計画の修正 ●入江崎クリーンセンター整備事業における各種法令の整理や総合調整条例に基づく手続きの実施及び整備計画及び発注仕様書作成 ●今後の廃棄物処理施設の整備等におけるごみ焼却処理施設の脱炭素化に向けた検討及び資源化処理施設の整備について基本的な考え方の整理の実施 	19,815,814	11,632,095	4	P70
18	30202070	廃棄物企画調整事業	その他	地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、3R等を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「一般廃棄物処理基本計画」に基づく3R等の取組の推進(市民1人1日あたりのごみ排出量:目標898g以下のところ858g、ごみ焼却量:目標352,600t以下のところ340,093t、プラスチック製容器包装の分別率:39.7%以上のところ、40.5%) ●プラスチックごみ一括回収に向けて、実証事業等を実施し、事業手法の検討を進め、今後の方向性を整理 	30,858	12,099	3	P72

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
19	30202080	余熱利用市民施設等 運営事業	施設の 管理・運 営	市民の健康の増進と文化の振興を図り、もってその福祉の向上に寄与するため、ごみ焼却に伴う余熱を有効利用し、余熱利用市民施設を管理運営します。	<ul style="list-style-type: none"> ●指定管理者による管理運営の実施(王禅寺余熱利用市民施設利用者数:目標200,000人のところ303,046人) ●市によるモニタリングの実施 ●堤根余熱利用市民施設の整備事業について、事業者ヒアリングを行い、整備基本計画策定に向けた検討を実施 	202,653	211,636	2	P74
20	30301050	生物多様性推進事業	その他	生物多様性基本法に基づく地域戦略である「生物多様性かわさき戦略」に基づき、生物多様性への配慮意識の向上や、地域に息づく生き物の生息生育環境の保全、生き物などの情報収集・発信の取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクト事業の進捗状況の取りまとめなど「生物多様性かわさき戦略」に基づく事業の推進 ●パネル展示などによる普及啓発等の実施、また、かわさき生き物マップの運用による生き物情報の発信(かわさき生き物マップへの投稿件数:目標2,000件のところ2,173件) ●生き物の生息調査の実施地点数(目標1地点のところ2地点) 	7,570	6,400	3	P88
21	40204010	スマートシティ推進事業	その他	持続可能な社会の構築と脱炭素社会の実現に向け、エネルギーの最適利用をはじめとしたICT・データの利活用による取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートシティに関連するリーディングプロジェクトの推進(9件) ●エネルギー利用の最適化に向け、制度や技術の最新動向及び他都市の動向等把握及び調査・検討を実施 ●スマートシティに関連するリーディングプロジェクト実施累計件数(目標48件のところ55件) 	8,831	6,061	3	P90

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示ししたものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料 掲載頁	①「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を掲載
						予算額	決算額 (見込)			
1	10101070	本庁舎等運営事業	その他	本庁舎等について災害対策活動の中枢拠点としての耐震性能を確保するため、建替えの取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●新本庁舎超高層棟新築工事及び復興棟新築工事の推進(完成予定だったところ、出来高ペースで92.9%の進捗。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新本庁舎の完成時期を令和5年度に延期) ●第2庁舎解体・跡地広場整備の設計完了、工事の契約手続き手 	34,141,026	14,553,298	4	P●●	
2	40205010	地域情報化推進事業	その他	市民生活の更なる利便性の向上や地域経済の活性化を図るため、かわさきWi-Fiの運用を行うとともに、地域情報の効果的な発信を図ります。公共データを市民サービスやビジネスにつなげるため、オープンデータの公開を進め、その効果的な利活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業者等登録数:目標350団体、実績354団体) ●川崎市LINE公式アカウントやかわさきアプリを活用した情報発信(市LINE公式アカウント友だち登録者数:目標40,000人、実績43,437人) ●更なるオープンデータの公開(公開データの月平均ダウンロード数:目標6,250件、実績4,827件) 	20,567	32,820	3	P●●	②市民サービス等の分類を記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 ○許認可等 ○出版物等 ○その他
3	40205020	行政情報化推進事業	その他	「川崎市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン」に基づく情報化関連施策の進捗管理を進めるとともに、マイナンバー制度の効率的・効果的な運用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●他の自治体等とのマイナンバーによる情報連携の安定的かつ円滑な運用 ●区役所・支所へのマイナポイント支援窓口の設置及び健康保険証利用の登録作業の実施(マイナポイント申込等の支援件数:目標60,000件、実績102,009件) ●川崎市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プランに基づく取組の進捗管理の実施 	209,810	153,732	3	P●●	③事務事業の概要を記載
4	40205030	デジタル化推進事業	その他	スマートフォンなどから24時間申請可能な電子申請システムの構築・運用や、市民ニーズが高い施設・窓口等でのキャッシュレス決済の導入を推進するなど、デジタル技術を活用して利便性の高い行政サービスを提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークスタイル変革に向けたテレワークパソコンの追加導入(導入数:1,310台) ●新本庁舎における柔軟な働き方の実現に向けた無線LAN環境の整備 ●NPO法人と連携したスマホ教室等の実施(実施回数:28回) ●旧電子申請システムの安定的な運用及び新電子申請システム「オンライン手続かわさき(e-KAWASAKI)」の一部稼働開始(電子申請システムの利用件数:目標400,000件、実績450,379件) ●「オンライン手続かわさき(e-KAWASAKI)」等を活用した行政手続の原則オンライン化(電子申請可能な手続のオンライン化率:目標100%、実績100%) ●キャッシュレス決済可能な窓口等の拡大による利便性の向上(施設・窓口数:目標51、実績51、決済比率:目標10%、実績10.5%) 	209,115	154,753	3	P●●	④令和4年度に実施した主な取組の実績を定量的な数字を含めて記載
5	40901005	市制100周年記念事業	参加・協働の場	本市が、令和6(2024)年に市制施行100周年を迎えることから、本市のさまざまな魅力、ポテンシャルを市内外にアピールする機会と捉え、各種事業や情報発信等を展開します。	<ul style="list-style-type: none"> ●オール川崎市の推進体制である実行委員会の設立、運営(参画団体数:目標300に対し実績311) ●市制100周年記念事業実施計画の策定 ●市制100周年の機運醸成のためのPRの実施(PRポスター、クラウドファンディングを活用した白黒写真カラー化、広報紙の発行等) 	24,772	27,238	3	P●●	⑤令和4年度の予算額及び決算額(見込)を記載
6	40901010	シティプロモーション推進事業	その他	戦略的な情報発信等により、市民のシビックプライドの醸成及び対外的な都市イメージの向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●「シティプロモーション戦略プラン」に基づく下記の各取組推進の結果、シビックプライド指標「愛着」は目標6.6に対し結果5.5、「誇り」は目標5.6に対し結果4.9と、いずれも目標を下回った。 ●PR事業者の活用、メディアミックスによる魅力発信 ●Twitterや動画等を活用した情報発信 ●民間企業等との連携によるプロモーションの推進 ●インフルエンサーと連携した「かわさきスペシャルサポーター」による若年層を対象にした情報発信 ●川崎市ブランドメッセージのGIGA端末教材の制作・公開 	33,003	26,808	4	P●●	⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
7	40901020	国際交流推進事業	イベント等	海外からの視察受入れや(公財)国際交流協会との連携により、行政だけでなく市民による国際交流を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●ウーロンゴン市との交流について、川崎ジュニア文化実行委員会と連携し、大賞受賞者と、ウーロンゴン市長及びウーロンゴン市の児童とのオンライン交流会を実施 ●富川市長をはじめとした訪問団の川崎市長らへの表敬訪問の受入 ●ザルツブルク市及びブリーベック市との友好都市提携30周年を記念し、市内で周年記念コンサートや宮前図書館と連携した企画展、各区役所コンサートと連携した取組、川崎市とザルツブルク市の小学生の合唱及びメッセージの動画交換等を実施 	37,774	24,269	3	P●●	⑦参考資料における当該事務事業の評価シートの掲載ページを記載